

第57回 『あいおの会』

- 失語症友の会 -

1、「失語症友の会」とは

失語症とは、脳卒中や事故などの後遺症によって、言葉を操る能力に障害が残った状態をいい、聞く・話す・読む・書くことすべてに影響を及ぼします。このような失語症の方に対して、言語聴覚士が中心となり、個別の訓練・支援をおこなっております。

失語症の多くの方は、日常の何気ない会話が不自由になり、仕事や趣味活動など、社会活動への参加が難しくなります。そこで、熱海・伊東地区では、失語症の方々のコミュニケーションの機会を作り、交流を深めるという目的で、平成18年7月より「失語症友の会」を開催しております。会には国際医療福祉大学熱海病院と熱海所記念病院の言語聴覚士や患者様のご家族も参加しております。

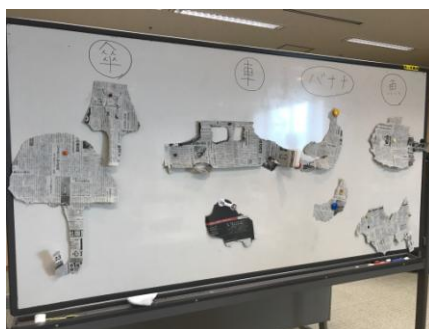
2、第57回「あいおの会」

平成29年8月20日(日)国際医療福祉大学熱海病院にて、第57回失語症友の会が開かれました。今回は、失語症患者様8名とご家族様・ヘルパーさん、言語聴覚士など多数の方にお集まりいただき、賑やかな雰囲気でした。

今回は、紙切りゲームと鑑定団ゲームの2つのゲームを行いました。紙切りゲームでは、お題に即した形に新聞紙をちぎり何の形かを当て、協力し合って作品を作成しました。鑑定団ゲームでは、患者様同士で意見を交換したり、みなさんの目利きが試され大変盛り上がりました。歌は、夏の思い出と蛍の光を歌い夏を感じられました。



★何を作っているのでしょうか



★渾身の作品



★生演奏で一生懸命歌っています

次回は平成29年10月29日 遠足予定です！！